

---

# たった一つのマリオネット

サークルO.L.

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

たった一つのマリオネット

### 【Nコード】

N3024Z

### 【作者名】

サークルO・L・

### 【あらすじ】

君は僕の為だけに生きるマリオネット。

月の光に闇が終わる頃、君を呼ぶために雄叫びを上げる。

“ 僕は初めから一人だった

”

そんな程度のことは、すでに知っていた事実。

きつと、他に相手がいるんだろうね。それが、一体誰であるのか？

『関係ないでしょ？』 そうやって、君は僕を向こうに押しやる。

それでも、時々願いを告げる心。

僕の心を見てくれる人が、君であればよかったのに……。

心は僕に終わりを告げようとする。

冷たくなった視線に、君を見るためだけにある両目。

僕は悲しみに打ちひしがれる無意味なマリオネット。

涙は流れることはなく、永遠にそこに立ち尽くしている。

『もっと冷たくならなくちゃ』

そうやって、自分で自分に言い聞かせてみても、君に近づぐことすらできない。

だけど、時々想いを伝えようとする心。

僕だけを見てくれるのが、君であればよかったのに……。

心は僕にサヨナラを告げようとしている。

冷たくなった身体に、君を抱くためだけにあつた肉体。

僕は愛を忘れることなく、永遠に君の傍に居続ける。

『もっと大事にしなくちゃ』

そうやって、自分に自分で言い聞かせてみると、君は僕に振り向いてくれる。

君は僕を夢見る、悲しげなマリオネット。

誰でもない、たった一人だけの僕を夢見て眠るマリオネット。

いつだって寂しくて怖いのに、僕は君だけを求めている。

そっと、僕のところ近づいてきてくれよ。

冷たくなった僕は、君を操るたった一人の人形師。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3024z/>

---

たった一つのマリオネット

2011年12月10日18時50分発行